



各 位

2021年10月29日

東京都港区海岸一丁目2番3号

株式会社インフォマート

代表取締役社長 長尾 収

(コード番号：2492 東証1部)

問い合わせ先 財務・経理執行役員

荒木 克往

電話 (03)5777-1710

通期の連結業績予想の修正および期末配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向等を踏まえ、2021年2月15日に公表しました2021年12月期の通期業績予想を下記の通り修正することといたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 通期業績予想の修正について

(1) 2021年12月期通期連結業績予想数値の修正

(2021年1月1日～2021年12月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	9,540	700	625	425	1円86銭
今回発表予想 (B)	9,743	940	941	529	2円32銭
増減額 (B) - (A)	203	240	316	104	
増減率 (%)	2.1	34.3	50.7	24.6	
(ご参考) 前期実績 (2020年12月期)	8,777	1,471	1,457	1,014	4円44銭

(2) 修正の理由

2021年12月期通期連結業績予想につきましては、売上高は203百万円計画を上回る見込みであり、セグメント毎の内訳は次の通りです。

売上高は、「BtoB-PF FOOD 事業」において、10月から緊急事態宣言等が全都道府県で解除されたことにより、食材等の流通金額が年末に向けて緩やかに回復が続く見込みとなり、「BtoB プラットフォーム 受発注」の買い手企業及び売り手企業の利用企業数の継続的な増加が見込まれるため、システム使用料及びセットアップ売上が計画を上回り、「BtoB-PF FOOD 事業」全体では58百万円計画を上回る見込みです。

「BtoB-PF ES 事業」において、業務効率化やテレワーク化進展により、「BtoB プラットフォーム 請求書」の新規有料契約数の増加及び稼働（請求書の電子データ化）が順調に推移する見込みのため、システム使用料及びセットアップ売上が計画を上回り、「BtoB-PF ES 事業」全体では143百万円計画を上回る見込みです。

売上原価（主にソフトウェア償却費、データセンター費、「BtoB プラットフォーム 請求書」の手数料）は、133百万円計画を下回る見込みです。また、販売費及び一般管理費（主に「BtoB プラットフォーム 請求書」の販売促進費）は、96百万円計画を上回る見込みです。

以上のことから、営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益は前回公表値を上回る見込みです。

2. 期末配当予想の修正について

(1) 期末配当予想の修正

(単位：円)

	年間配当金		
	第2四半期末	期 末	合 計
前 回 予 想	—	0 円 47 銭	0 円 94 銭
今 回 修 正 予 想	—	0 円 63 銭	1 円 10 銭
当 期 実 績	0 円 47 銭		
前 期 実 績 (2020 年 12 月期)	1 円 85 銭	1 円 86 銭	3 円 71 銭

(2) 修正の理由

当社は、配当金を株主の皆様への還元の中核をなすものと考え、「インフォマートの個別業績に基づく基本配当性向 50%」を配当の基本方針としております。

通期の業績予想の修正を踏まえ、期末配当を当初予想 1 株当たり 0 円 47 銭から 0 円 16 銭増額し 0 円 63 銭とすることにいたしました。これにより今期は、既に実施しました中間配当 1 株当たり 0 円 47 銭とこの期末配当 0 円 63 銭を合わせ年間で 1 株当たり 1 円 10 銭となる予定です。なお、期末配当につきましては、2022 年 3 月開催予定の定時株主総会に付議する予定であります。

(注) 上記の業績予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

以 上